

2090

第三〇號

保存期限  
決裁指定  
執行指定

大臣 委		件名		受領 番號
局長 主務		次官		憲法第二三〇五條 起元廳(課)名 内閣
課長 主務		高級副官		
局長		主務副官 官房御用掛		内閣 閣
課長		主務課員		
(裁決)行決 覽回後		連帶		筆記者 審案
昭和一十一年七月十一日		昭和一十一年七月十一日		
昭和一十一年七月十一日		昭和一十一年七月十一日		
昭和一十一年七月十一日		昭和一十一年七月十一日		

政務次官回付  
決裁前後一連帶  
課名

官制官規

執行(決裁)後  
回覽課名

陸軍

副官ヨリ省内各局(部長、参謀本部)

庶務課長、各軍、師團(派遣ヲ除ク)参

謀長、第一、第九、第十二師團留守参謀

宛 通牒

今般内閣書記官長ヨリ別紙ノ通り申越アリタ

ルニ付テハ之レカ徹底方可然取計相成度

尚同要覽 部 送付ス

陸軍第四二五八號 昭和二年七月十一日





6090

内閣閣甲第一一七號

昭和十一年七月三日

内閣書記官長 藤 沼 庄 平

陸軍次官 梅 津 美 治 郎 殿

情報委員會ニ關スル件

今般内閣ニ情報委員會ヲ設置シ各廳情報（啓發宣傳ヲ含ム）ニ關スル重要事務ノ連絡調整ヲ掌ラシムルコトト相成候ニ付テハ本年六月十九日閣議決定「情報委員會ノ職務」及「情報委員會事務規程」別添「情報委員會要覽」參照ニ基キ情報ノ通報其他緊密ナル連絡ニ付遺漏ナキ様格別ノ御配意相煩度依命此段及通牒候

追テ本件ニ付テハ貴省各部局及貴管下地方廳ニ對シ十分徹底セシメラルル様致度「情報委員會要覽」添附致置候

陸 軍



閣下 第二二〇五  
閣甲 一二七

七月三日

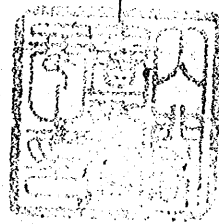
昭和十一年七月三日

内閣書記官長 藤沼 庄平

# 陸軍次官 梅津美治郎 殿

情報委員會ニ関スル件

今般内閣ニ情報委員會ヲ設置シ各廳情報(啓發宣傳ヲ含ム)ニ関スル重要事務ノ連絡調整ヲ掌ラシムルコトト相成候ニ付テハ本年六月十九日閣議決定「情報委員會ノ職務」及「情報委員會事務規程」(別添「情報委員會要覽」參照)ニ基キ情報ノ通報其他緊密ナル連絡ニ付遺漏ナキ様格別ノ御配意相煩度依命此段及通



牒候

追テ本件ニ付テハ貴省各部局及貴管下地方廳ニ對シテ  
分徹底セシメラルル様致度ヲ情報委員會要覽ニ十五〇部  
添附致置候

0513

梅津陸軍次官殿

關甲 一七七号

0514

# 内閣書記官長

文 庫 (内閣文庫)

昭和八年八月一日  
三六〇八〇  
三六〇八〇  
三六〇八〇

内閣書記官長  
昭和八年八月一日  
三六〇八〇  
三六〇八〇  
三六〇八〇



9515

情報委員會要覽

部外秘扱

内閣

(昭和二七・二印刷)

目次

一	情報委員會官制	一頁
	(附) 情報委員會官制制定ニ當リテノ閣議諒解事項	二
二	情報委員會ノ職務	三
三	情報委員會事務規程	七
四	職員名簿	一一

情報委員會官制

(昭和十一年七月一日公布  
勅令第三百三十八號)

第一條 情報委員會ハ内閣總理大臣ノ管理ニ屬シ各廳情報ニ關スル重要事務ノ連絡調整ヲ掌ル

第二條 情報委員會ハ委員長及委員ヲ以テ之ヲ組織ス

委員長ハ内閣書記官長ヲ以テ之ニ充ツ

委員ハ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳勅任官ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

第三條 委員長ハ會務ヲ總理ス

委員長事故アルトキハ内閣總理大臣ノ指名スル委員其ノ職務ヲ代理ス

第四條 情報委員會ニ幹事長及幹事ヲ置ク

幹事長ハ上席專任情報委員會事務官ヲ以テ之ニ充ツ委員長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

幹事ハ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第五條 情報委員會ニ左ノ職員ヲ置ク

事務官 專任三人 奏任 内一人ヲ勅任ト  
爲スコトヲ得

書記 專任四人 判任

事務官ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第六條 書記ノ進退ハ内閣書記官長之ヲ專行ス

第七條 第五條ノ事務官ノ外内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ事務官ヲ

命ズルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(附) 情報委員會官制制定ニ當リテノ閣議諒解事項 (昭和十一年六月十二日閣議決定)

- 一 情報委員會官制第一條ニ所謂「情報」ノ中ニハ「啓發宣傳」ヲ含ムモノトス
- 一 情報委員會官制第一條ニ所謂「連絡調整ヲ掌ル」トハ「連絡ヲ緊密ニシ統一ヲ保持ス」ルノ義ナリトス
- 一 情報委員會ハ各省官制ヲ何等變更スルモノニアラズ
- 一 情報委員會ハ直接情報ヲ蒐集シ或ハ外部ニ情報ヲ發表スルコトナシ殊ニ外國公館或ハ外國新聞通信社關係者ト接觸スルコトナシ

## 情報委員會ノ職務

(昭和十一年六月十九日  
閣議決定)

## 一、國策遂行ノ基礎タル情報ニ關スル連絡調整

外交内政諸般ノ方面ニ於テ、或ル事案ニ對スル國策ノ遂行ハ、正シキ情報ノ基礎ニ立脚セザルベカラズ。而モ事案ノ各廳ニ關聯スル場合ニ於テハ、其ノ入手スル情報自ラ一面的判斷ニ陥リ易ク、彼此齟齬スル所無シトセザルガ故ニ、速ニ之ガ正シキ甄別ヲ行ヒ、以テ國策遂行ノ具體的妥當性ヲ得シムルニ資スル所アルヲ要ス。此ノ如キハ各所管廳ノ能クスル所ニアラズ。常置的國家機關ニ於テ、絶エズ各廳情報ニ關スル連絡調整ヲ行ヒ、以テ統一ヲ保持セザルベカラズ。情報委員會ハ此ノ連絡調整統一保持ノ任ニ當ルモノニシテ、日常國策ニ關スル各廳入手ノ情報ニ付連絡ヲ緊密ニシ、絶エズ綜合調整ヲ行ヒ、以テ國策ノ遂行ニ遺漏ナカラシメントスルモノナリ。

## (實施方法)

一、國策ニ關スル情報ハ之ヲ委員會ニ送付セシメ、委員會ノ常勤職員ニ於テ絶エズ之ガ検討ヲ行ヒ連絡調整ヲ圖リ統一保持ニ努ム。

一、之ガ爲委員會ヲ招集シテ協議決定スルノ要アル場合ニハ委員會ヲ開催シ、或ハ常勤職員ニ於テ遲滞ナク各廳職員ト連絡シテ委員會ノ開會ニ代ヘ、以テ連絡調整統一保持ノ實ヲ舉グ。

## 一、内外報道ニ關スル連絡調整

四

國ノ内外ニ弘布セラルル「ニュース」ハ固ヨリ正確公平ナラザルベカラザルモ、各廳夫々ノ立場ニ於テ之ヲ與ヘラルル結果、或ハ一廳ノ一面的判斷ヲ以テシ、國家全局ヨリ綜合セル結論的意見ノ捕捉ニ苦シマシメ、内ハ輿論ヲ誤リ、外ハ國論ヲ誤解セシムル虞ナシトセズ。最近ニ於ケル新聞通信ノ發達ハ言フ俟タザル所ナルガ、殊ニ無線科學ノ進歩ニ伴ヒ、國內ニアリテハ放送施設ニヨリ國民ニ直接「ニュース」ヲ傳達シ、國外ニ對シテハ所謂新聞放送ニ依リ各國ノ新聞紙ヲ通ジテ自國ノ「ニュース」ヲ弘布シ、國內及國際報道界ニ一大境地ヲ展開スルニ至レリ。故ニ今日ニ於テハ、消極的ニ内務省ノ出版警察權或ハ遞信省ノ通信警察權ニ依ル公安保持ニ止マラズ、積極的ニ「ニュース」ノ弘布ニ對シテ國家的批判ヲ加ヘ、國家ノ利益ニ資スル所ナカルベカラズ、而モ其ノ内容タルヤ外交内政諸般ノ方面ニ涉ルヲ以テ、益々各廳情報事務ニ關スル連絡調整ヲ圖リ統一保持ヲ期セザルベカラズ。仍テ情報委員會ハ、日常各廳情報事務ニ關シテ緊密ナル連絡ヲ圖リ統一保持ノ任ニ當リ、以テ國家ノ利益ヲ害スルコトナク、反テ國家ノ利益ニ寄與セシムルト共ニ報道ノ使命達成ニ資スル所アラントスルモノナリ。

## (實施方法)

一、國策ニ關スル内外「ニュース」ヲ國家的綜合的の見地ニ於テ檢討シ、必要アル場合ニハ所管廳

ニ對シテ適當ナル提言ヲ爲ス。

一、前項ハ必要アル時ハ委員會ヲ招集シ、又ハ常勤職員ト各應職員トノ連絡ニ依リ調整ヲ圖リ統一保持ヲ期スルモノトス。

一、社團法人同盟通信社設立ノ趣旨ニ顧ミ情報委員會ハ關係各應ト協力シテ同社ノ國家的見地ニ基ク健全ナル發達ヲ圖リ其ノ機能ヲ發揮セシムベキモノトス。

#### 一、啓發宣傳(輿論指導)ニ關スル連絡調整

啓發宣傳(輿論指導)ニ關シテハ、各應自己ノ立場ニ於テ夫々諸種ノ方法ニ依リ之ヲ行ヒ居ル處、自應ノ立場ニ忠實ナル結果、自然一面的判斷ニ陥リ或ハ他應ト矛盾撞著ヲ來シ或ハ國家全局ノ綜合的見地ニ背戻シ、爲ニ輿論ヲ誤リ又ハ國論ノ誤解ヲ來サシムルコトナキヲ保セズ。國策遂行ノ上ニ於テ障害ヲ來スコト尠カラズト謂フベシ。仍テ情報委員會ハ各應啓發宣傳ノ事務ニ付密接ナル連絡ヲ行ヒ國策ノ大方策ニ則リ其ノ統一保持ヲ期シ、以テカカル障害ヲ除去シ、進ンデ公正ナル知識ノ啓發ト輿論ノ指導トニ資スル所アラントスルモノナリ。

#### (實施方法)

#### 一、輿論指導方針ノ立案

輿論指導ニ關スル一般的大方針及隨時發生スル諸情勢ニ對處スル方針ニ關シ研究立案ス。

一、輿論指導ニ關スル事前連絡

啓發宣傳ノ實施ニ當リ出來得ル限り事前ニ連絡シテ各廳間矛盾撞著ナカラシムル爲常勤職員ニ於テ絶エズ之ガ調整ニ關シ必要ノ手段ヲ講ゼシメ、要スレバ委員會ヲ開催シテ方針ヲ協議ス。

六

- (1) 啓發宣傳ノ爲ノ冊子發行ノ場合ニハ、其ノ内容ニ付事前ニ委員會ニ協議セシム。
- (2) 啓發宣傳ノ爲ノ重要ナル講演、放送、映畫、演劇等ニ關シテハ其ノ内容ニ付事前ニ委員會ニ通報セシム。

一、啓發宣傳ニ關スル事後報告

各廳ニ於テ啓發宣傳ノ爲實施シタル事項ハ總テ概要ヲ其ノ都度委員會ニ報告セシム。



## 情報委員會事務規程

(昭和十一年六月十九日  
閣議決定)

第一條 情報委員會官制(以下單ニ官制ト稱ス)第一條ニ定ムル情報委員會ノ所掌事務ハ凡ソ左ノ各號ニ掲グルモ  
フトス

- 一 國策遂行ノ基礎タル情報ニ關スル連絡調整
- 一 内外報道ニ關スル連絡調整
- 一 啓發宣傳ニ關スル連絡調整

情報委員會ハ前項ニ掲グル事項ノ遂行ニ必要ナル事項ノ調査ヲ行フ

第二條 委員會ハ委員長隨時之ヲ招集ス

委員中ニ常任委員ヲ設クルコトヲ得常任委員ハ委員長之ヲ指名ス

常任委員會ハ特ニ必要アル場合ノ外凡ソ毎週一回定例會ヲ開ク場合ニ依リ委員長ハ常任委員會ノ招集ヲ以テ委員會ニ代フルコトヲ得

常任委員ハ委員長ニ隨時常任委員會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得

定例事務次官會議ハ之ヲ常任委員ニ非ザル委員ノ定例會ト看做ス

場合ニ依リ委員長ハ前項ノ會議ヲ以テ委員會ニ代フルコトヲ得

第三條 幹事長及幹事ヲ以テ幹事會ヲ組織ス

幹事長ハ幹事會ヲ招集シ之ヲ主宰ス

幹事會ハ特ニ必要アル場合ノ外凡ソ毎週一回定例會ヲ開ク場合ニ依リ委員長ハ幹事會ノ招集ヲ以テ

委員會ニ代フルコトヲ得

幹事會ニ於テ協議セル重要事項ハ幹事長之ヲ委員長及委員ニ報告スベシ

幹事ハ幹事長ニ隨時幹事會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得

第四條 官制第五條ノ事務官ハ常ニ委員、幹事又ハ官制第七條ノ事務官ト連絡ヲ緊密ニシ本規程第一條ノ事務ヲ掌ル

第五條 内閣總理大臣ハ官制第七條ノ事務官中若干名ヲ限り本屬長官ノ承認ヲ經テ委員會ニ常勤ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ事務官ハ官制第五條ノ事務官ト同様ノ勤務ニ服ス

第一項ノ事務官ヲ除クノ外官制第七條ノ事務官ハ其ノ所屬廳ノ職員ニシテ情報委員會ノ委員又ハ幹事タル者ト官制第五條ノ事務官トノ連絡ヲ緊密ニシ情報委員會ノ機能ヲ輔ク

第六條 場合ニ依リ會議ヲ招集セズ官制第五條ノ事務官ヨリ委員、幹事又ハ官制第七條ノ事務官ト連絡シテ會議ニ代フルコトヲ得

第七條 各廳ハ國策ニ關スル各種情報ヲ遲滯ナク委員會ニ通報シ其ノ地方廳ヨリ本省及關係廳ニ通報スルモノニ付テハ同時ニ委員會ニ通報スルモノトス

第八條 形式ノ如何ヲ問ハズ各廳ニ於テ國策ニ關スル聲明其ノ他ノ發表ヲ爲ス場合ニハ事前ニ其ノ内容ヲ委員會ニ通報スルモノトス

第九條 各廳ニ於テ國策ニ關スル啓發宣傳ノ實施ヲ爲ス場合ニハ左ノ各號ニ依リ其ノ内容ニ付事前ニ委員會ニ連絡スルモノトス

- 一 冊子發行ノ場合ニハ協議スルコト
- 一 重要ナル講演放送映畫演劇等ニ關シテハ通報スルコト

前項ノ外啓發宣傳ノ爲實施シタル事項ハ總テ其ノ都度概要ヲ委員會ニ通報スルモノトス

第十條 委員、幹事、官制第七條ノ事務官ハ前三條ノ通報又ハ協議ニ付常ニ留意シ遲滯遺漏ナカラシムベシ

第十一條 委員會ニ於テ必要ト認ムルトキハ所管廳ハ報道業務ヲ爲ス者ヲシテ適當ナル措置ヲ講ゼシムルモノトス

第十二條 委員會ハ關係各廳ニ對シ必要ナル資料ノ提出又ハ説明ヲ求ムルコトヲ得

情報委員會職員名簿

委員長

内閣書記官長 藤沼庄平

委員

法制局參事官 樋貝詮三

資源局長官 松井春生

對滿事務局次長 青木一男

外務次官 堀内謙介

外務省情報部長 天羽英二

内務次官 湯澤三千男

内務省警保局長 萱場軍藏

大藏次官 川越丈雄

陸軍次官 梅津美治郎

陸軍少將 磯谷廉介

幹事  
幹事長

内務事務官	外務書記官	内閣書記官	情報委員会事務官	拓務次官	鐵道次官	逓信省電務局長	逓信次官	商工次官	農林次官	文部次官	司法次官	海軍少將	海軍次官
宮野省三	佐藤敏人	川島孝彦	横溝光暉	入江海平	喜安健次郎	平澤要	富安謙次	吉野信次	長瀬貞一	河原春作	長島毅	野田清	長谷川清

事務官

(官制第五條)

内務書記官	内藤寛一
陸軍歩兵大佐	秦彦三郎
海軍大佐	關田繁里
遞信書記官	

(兼)

内閣調査局調査官

横溝光暉

事務官

(官制第七條)

喜多長雄	川面隆三	奥村喜和男
------	------	-------

(常勤)

外務書記官	田代重徳
外務事務官	太田三郎

(常勤)

内務書記官	小貫弘
大藏書記官	江口順一

(常勤)

陸軍砲兵中佐	影佐禎昭
陸軍砲兵少佐	清水盛明

書

(兼)

記

内閣 屬

小澤 幸忠  
 小林 正雄  
 松尾 録雄  
 高橋 喜太郎

警視廳 部長

上田 誠一

拓務省 書記官

笹川 恭三郎

鐵道省 書記官

鈴木 清秀

(常勤)

逓信省 事務官

宮本 吉夫

逓信省 書記官

小林 武治

商工省 書記官

辻 謹吾

農林省 書記官

細川 利壽

文部省 書記官

堀池 英一

司法省 書記官

關宏二郎

(常勤)

海軍中佐

光延 東洋

海軍中佐

高田 利種

0530

情報委員会事務所

東京市麹町區永田町二ノ一  
内閣總理大臣官舎内  
出入、舊日本通門ヨリ

電話

銀座(57)

自二二二番  
至二二四番  
自六六七番  
至六六七三番  
(宿直)銀座(67)六六七一番